

4. 実施主体者(ファイブ・ア・デイ協会)と取組体制

5 A DAY (ファイブ・ア・デイ) は、「1日5皿 (350g) 以上の野菜と200gの果物を食べよう」をスローガンとする健康増進運動である。一般社団法人ファイブ・ア・デイ協会は、平成14年に発足し、平成27年3月現在、食の製造・流通に関する企業・団体を中心とした111社の会員を有する。私たちは、量販店会員等と連携体制を組み、小学生や園児を対象とした食育体験学習を全国で毎年約3万5000人に提供する基盤を保有している。子どもから大人まで、ターゲットやシーンに合わせた様々な食育体験プログラムを通じて野菜摂取の大切さを伝え、具体的な摂取行動へつなげることをめざしている。

平成26年度は、フードチェーン食育活動推進事業の「食育推進者のためのキャリアアップ研修」として次のような体制で取り組んだ。まずプログラム開発では、研修プログラム推進委員会として、栄養学や食生活指導、食品安全等の専門的知識を有する有識者・専門家・研修運営者・調査アナリスト等とともに、食育のニーズ調査を検証し策定した。また、研修会の参加者募集にあたっては、農林水産省はじめ全国の地方公共団体や独立行政法人、食育推進団体、栄養士会、栄養士団体などの協力を得て、協会会員だけでなく幅広い業種・業態からの参加を募った。そして、本事業で得た結果は、今後、全国の食品流通業、製造業、商社、生産者団体、外食、その他食品や食育の関連企業・団体へとフィードバックし、フードチェーン食育がより広域的、効果的に展開されることを目指した。

<取組体制>

